

話題の講義ライブ
LIVE 2014

Today's Program **経営学概論**

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学



商学部

5.23.Fri. at Kunitachi
14:40~16:10
沼上 幹 教授



世界の歴史を変えたスマートフォン 驚異の利益を生み出す企業の強さの秘密とは？

講義の流れ
経営学の入門となる講義。マーケティング・ミックス、市場セグメント、プロダクト・ライフサイクルなどの項目ごとに1〜3回の講義をする。原則として、2回に1回のペースで小テストを実施。その場で解説・自己採点を行い、授業内容を着実に身につける。
醍醐味
社会科学の一分野として経営学を学ぶ。経営組織論と経営戦略の議論についてわかりやすく紹介することで、これらの標準科目の理解をスムーズにしていく。

10年間で著しく変化したアップル社
2007年1月は世界にとって特別な月

学生に埋め尽くされた階段教室。約400名が履修登録する「経営学論」は一つの教室では足りず、隣の教室にケールを引いてさらに数十名の学生が映像講義を受けているという。「基本的には商学部1年生の必修講義ですが、他学部の学生も100名ほど受けています」と話すのは沼上幹先生。就職活動を控えた学生が情報収集のために受講することも多いという。



そんな大盛況の講義、本日は「iPhoneでお馴染みの米国アップル社を分析事例として取り上げる」という。講義はアップル社がどういう企業かを経営学の視点から確認するところから始まった。スクリーンに映し出されたのは円グラフ。「アップルの大きな特徴は、たった10年の間にポートフォリオを大胆に組み換えてきたことだ」と沼上先生。「iPhoneでいうポートフォリオとは、事業の種類や構成比率の組み合わせを指す。アップル社において2002年の発売商品の筆頭はアップル・コンピュー

設備投資額はソニーの2倍以上！
研究開発への情熱と執念

アップル社は莫大な利益を生み出している企業である。それは日本企業で売り上げトップのトヨタ自動車株式会社と比べるとよくわかる。2013年度のアップル社の売上は約17兆9000億円に対し、トヨタ自動車株式会社は約25兆6900億円。しかし、利益に関してはアップル社が約3兆7000億円に対し、トヨタ自動車株式会社は約2兆2900億円。1兆円以上も上回っているのだ。なぜ、このようなことが可能なのか。「それはアップル社が部品メーカーや組み立てを担う企業に対して圧倒的な交渉力があり、極めて安価な価格で発注することに成功しているからです」。沼上先生の声も思わず大きくなる。



アップル社では常に複数社発注で特定の企業に依存しないようになっている。また、契約書には「生産ラインをアップル専用にする」というような内容が含まれているという。「納期についても厳しく、アップル社は自社在庫は極小化しています」。さらに驚くことに、アップル社はこれらの企業に自ら生産設備などを用意し、貸与しているのだ。「アップル社の2012年の設備投資額は約5500億円。メーカーであるソニーの同年の額が約2100億円です。アップル社は必要な技術投資を率先し、部品メーカーを自社に依存させる工夫を巡らせています」。次々と明らかにされるアップル社の企業活動に学生の間からため息が漏れる。

小テストで「経営学の言葉」を身につける
即座に答え合わせ、成績優秀者は発表

VOICES 学生の声 of University Students



服部 純太郎さん (右)
商学部1年
平凡なことも沼上先生の手にかかるとおもしろいテーマになる。普段、経済活動に加担しているにも関わらず、「自分はほとんど何も知らなかったんだ」と驚いています。一橋祭の模擬授業を受けたのが商学部に進む決め手となりました。企業経営をするのが夢です。

高橋 雅稀さん (左)
法学部2年
アップル社の経営の裏側を知り、素直に羨しなと感動しました。沼上先生の講義は毎回発見の連続です。消費者から経営者へ視点を変えるだけで社会が全く違って見えることを知りました。都心から離れた一橋大学の落ち着いた環境が気に入っています。

田名部 晃さん (中央)
商学部1年
多方面に視野を広げて、自分の戦略を考えるおもしろさを知りました。今まで考えもしなかったことに光をあててくれる沼上先生の授業は興味深いです。将来は商社に勤務し、実学的な商学を武器に世界レベルで活躍したいと思っています。



終盤、沼上先生はこれまで解説してきたアップル社の特長を、企業行動だけでなく、業界の競争環境を分析手法を用いて紹介。「米国のスマートフォンとタブレット型コンピュータの市場で現在アップル製品の販売量は巨大です。そのため薄利だからと言って、下請け企業が何十万単位のアップル社からの発注を断るとは考えにくい。近年は勢いが若干弱まっているものの、独自の構造的工夫故に、同社の売上が即座に急減することはないでしょう」と締めくくった。



沼上 幹先生
一橋大学商学研究科教授。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。博士(商学)。成城大学経済学部講師を経て現職。一橋大学商学研究科研究科長(2011年1月~2012年12月)。研究分野は経営学。研究テーマは「日本の企業組織と経営戦略の実証研究」。著書に「行為の経営学(経営学における意図せざる結果の研究)」、「わかりやすいマーケティング戦略」(有斐閣)など。経済図書文化賞(2000年/11月)、高宮賞(著作部門/2000年6月)、エコノミスト賞(2000年3月)受賞。

一橋大学

資料の請求およびお問い合わせ先
〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学入試課
TEL.042-580-8150 FAX.042-580-8158
e-mail admission1284@dm.hit-u.ac.jp URL http://www.hit-u.ac.jp/

商学部
経済学部
法学部
社会学部

【沿革・歴史】

- 1875 (明治8)年 森有礼が商法講習所を私設
- 1902 (明治35)年 東京高等商業学校となる
- 1920 (大正9)年 東京商科大学となる
- 1930 (昭和5)年 国立へキャンパスを移転
- 1949 (昭和24)年 一橋大学と改称。商学部・経済学部 法学社会学部の3学部となる
- 1951 (昭和26)年 法学社会学部を法学部と社会学部に分割
- 1953 (昭和28)年 大学院を設け、修士課程、博士課程を開設
- 1996 (平成8)年 言語社会研究科(大学院)を設置
- 1998 (平成10)年 国際企業戦略研究科(大学院)を設置
- 2004 (平成16)年 マーキュリウタワーの完成、法科大学院を設置
- 2004 (平成16)年 国立大学法人一橋大学となる
- 2005 (平成17)年 国際・公共政策大学院を設置
- 2010 (平成22)年 創立135周年・国立移転80周年記念式典を挙

【オープンキャンパス情報】

8月1日(金)
※事前申込が必要です。詳細は、大学ホームページをご覧ください。

